

HSK 毎月十二回(一・三・五・八・十一・十三・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日)発行
一九九四年八月四日 第三種郵便物承認

HSK

遊 ぼう よ

No. 73



絵:草島明美



絵:石動智江子

就労企画

語ってみませんか、働いている障害者の皆さん

現在働いている障害者の皆さん方と一緒に語ってみませんか。就労継続A型、B型、一般就労、自営業をしておられる方、どなたでも結構です。就労の形態は問いません。

内容として「働いた理由やきっかけ」は何でしたか？ 「働いてみて」どうですか？ 「自分の思いと働いてみて」違いましたか？ 「職場の人とうまく」いってますか？ 「今抱えている悩み」は何ですか？ 「これからの希望や課題」等について話せたらよいかと思います。

話を聞いて、悩んでいるのは自分だけじゃなかったと思えるかもしれません。こんな時に他の人はどうしているんだろう？ 聞いてみたいこともあると思います。

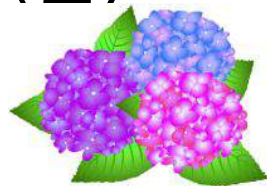
当日は、富山大学人間発達科学部の志賀先生とゼミの学生の皆さんがゲスト参加して頂いて一緒に考えてもらおうと思います。

なお、少人数でじっくり話がしたいので参加してみようと思ったら、まず下の参加申し込みを送ってください。電話でも郵送でもFAXでもかまいませんが、6月15日頃までをお願いします。

日時：2014年6月22日（日）

午後1時～4時まで

**会場：サンシップとやま
602・603号室**



※サンシップとやまへ行くには、富山駅から徒歩15分、あるいは市電なら富山駅から大学行き「県庁前」下車徒歩2分、車の場合は駐車場があります。

*** 参加申し込み ***

お名前：

連絡先：

* 電話でもメールでもFAXでも結構です。当日の予定変更のお知らせ等に使います。

障害認定調査項目の見直しについて

これまで利用されてきた「障害程度区分」は知的障害者や精神障害者について、一次判定で低く判定され、二次判定で引き上げられている割合が高いことから、知的障害者及び精神障害者の特性に応じて適切に一次判定が行われるように「障害支援区分」という新たな名称の下、平成26年4月より見直しがされました。

● 認定調査項目の見直しについて ●

(調査項目の追加)

知的障害、精神障害や発達障害の特性をより反映させるため、以下の6つの項目を追加。①健康・栄養管理／②危険の認識／③読み書き／④感覚過敏・感覚鈍麻／⑤集団への不適応／⑥多飲水・過飲水。

その他、既存の調査項目における評価内容の見直しとして①衣服の着脱／②食事／③視力・聴力(全盲・全ろうも含めて評価)／④行動上の障害 関連項目(投薬等の頻度も含めて評価)があります。

(調査項目の統合・削除)

調査対象者等の負担軽減を図るため、14項目を7つに統合し、また25項目を削除した。

(判断基準の見直し)

障害支援区分では「できたりできなかつたりする場合は」「できない状況」に基づき判断する。運動機能の低下に限らず、筋力低下や易疲労感によって出来ない場合、慣れていない状況や初めての場所で出来ない場合も含めて判断されるようになった。

(選択肢の統一)

評価範囲の見直しを実施。身体介助なら見守りや声かけ等をすればできる場合も評価されるように変更。日常生活関係なら自宅・単身の生活を想定して評価。行動障害関係では行動上の障害が生じないための支援を含めて評価する。

(特記事項の拡充)

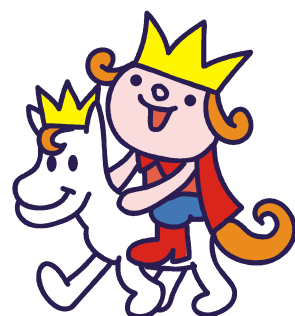
項目以外の特記事項として、「思い込み、勘違い、固執行動への支援」「妄想、幻覚の有無とその支援」「犯罪行為の繰り返しへの支援」「性的問題行動に対する支援」などを記載事項として想定して認定調査票の見直しを行った。

※障害者総合支援法における障害者支援区分 認定調査員マニュアル(案)を見て、まとめました。

★なお、制度を利用希望される方の手続きは変更ありません。



4月からスタッフが増えました 新人紹介

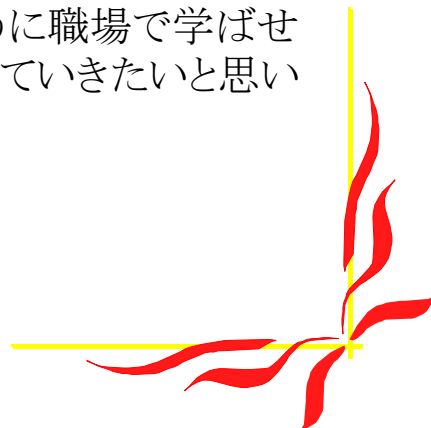


皆様こんにちは。今年度の4月から自立生活支援センター富山で働くことになりました。

八島梨花と申します。

大学を卒業して社会人になったばかりの新米でまだまだ不慣れですが、障がい者当事者の視点を活かして皆様に寄り添った、良い支援ができるように日々努力してまいります。

少しでも皆様のお役に立てるように職場で学ばせていただきながら一生懸命頑張っていきたいと思えます。よろしくお願ひ致します。



自立生活支援センター富山の主な動き

〈この間の活動報告〉

2月17日(月)	送迎	富山市内
2月18日(火)	出張ピアカン開催	高志ワークホーム
2月19日(水)	出張ピアカン開催	高志ライフケアホーム
2月19日(水)	ケア会議開催	高志支援学校
2月20日(木)	ケア会議開催	富山保健所
2月21日(金)	事務局会議	リーぶる事務所
2月24日(月)	送迎	富山市内
2月24日(月)	カンファレンス参加	富山赤十字病院
2月25日(火)	送迎	富山市内
2月26日(水)	第16回講師派遣「専門コース別研修」	教育文化会館
2月27日(木)	ケア会議開催	あかりハウス
3月2日(日)	送迎	富山市内
3月3日(月)	感情調節困難者講演会参加	国際会議場
3月4日(火)	専門ワーキング出席	障害者プラザ
3月7日(金)	ケア会議開催	リーぶる事務所
3月8日(土)	ポストポリオネットワーク会議参加	高志リハビリテーション病院
3月9日(日)	移動ネット会議参加	リーぶる事務所
3月10日(月)	ケア会議開催	リーぶる事務所
3月11日(火)	ケア会議開催	高志リハビリテーション病院
3月12日(水)	ケア会議開催	つくしの家婦中
3月13日(木)	ケア会議開催	リーぶる事務所
3月14日(金)	ケア会議開催	リーぶる事務所
3月15日(土)	送迎	富山市内
3月17日(月)	送迎	富山市内
3月18日(火)	出張ピアカン開催	高志ワークホーム
3月19日(水)	出張ピアカン開催	高志ワークホーム
3月20日(木)	送迎	富山市内
3月26日(水)	カンファレンス参加	中央保健福祉センター
3月26日(水)	ケア会議開催	リーブル事務所
3月27日(木)	ケア会議開催	リーぶる事務所
3月28日(金)	就労ワーキング参加	障害者プラザ



4月3日(木)	ケア会議開催	サンシップとやま
4月4日(金)	事務局会議	りーぶる事務所
4月5日(土)	送迎	富山市内
4月8日(火)	送迎	富山市内
4月8日(火)	事例検討会出席	障害者プラザ
4月10日(木)	ケア会議参加	高志リハビリテーション病院
4月11日(金)	事務局会議	りーぶる事務所
4月11日(金)	ケア会議参加	ハートビート
4月11日(金)	事例検討会出席	障害者プラザ
4月12日(土)	移動ネット会議参加	文福
4月14日(月)	送迎	富山市内
4月15日(火)	出張ピアカン開催	高志ワークホーム
4月15日(火)	送迎	富山市内
4月16日(水)	出張ピアカン開催	高志ライフケアホーム
4月16日(水)	事例検討会出席	障害者プラザ
4月18日(金)	事務局会議	りーぶる事務所
4月18日(金)	ケア会議参加	富山市総合社会福祉センター
4月19日(土)	送迎	富山市内
4月21日(月)	ポストポリオネットワーク富山会計監査	りーぶる事務所
4月22日(火)	第1回研修ワーキング出席	富山県庁
4月22日(火)	カンファレンス参加	富山県立中央病院
4月23日(水)	ケア会議開催	九重荘
4月23日(水)	ケア会議参加	イーグルつばさ
4月23日(水)	相談支援ワーキング出席	障害者プラザ
4月23日(水)	専門ワーキング出席	障害者プラザ
4月25日(金)	事務局会議	りーぶる事務所
4月26日(土)	ポストポリオネットワーク富山総会参加	
5月2日(金)	事務局会議	りーぶる事務所
5月3日(土)	送迎	富山市内
5月8日(木)	理事会	りーぶる事務所





24時間テレビ車両、活躍中!

前号でもお知らせしましたが、去る3月25日に北日本放送社屋にて24時間テレビの車両贈呈式がありました。まさか当たるとは思わなかったのが驚きと喜びでいっぱいでした。あれから2ヶ月、福祉有償運送の車両としても西へ東へ大忙しの毎日です。この車両はリフトではなくスロープで車いすの乗降を行います。軽自動車ですが補助席を使えば4名乗車可能です。



新しい車両の配置に伴い、今まで使用してきた車両は日本財団様の了承を得て廃車手続きをしました。リフトの故障回数が増えて安全面に不安があったことと、残念ながら車両2台を維持するだけの財政基盤がないため13年間の活躍に感謝しつつも処分することにしました。ここにご報告します。

会費納入のお願い

日頃から私たちの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。今回の機関誌に会費納入用の振込用紙を同封させていただきました。既にご入金いただいた方には失礼ご容赦ください。

2000年に発足した当法人も早いもので来年で15周年を迎えます(富山生きる場センターは来年で30年)。来年度は何か記念になるような催し物を計画中です。

無認可作業所の時代から今日まで活動を継続できたのも一緒に歩んできた仲間たちと応援してくださる皆さんのおかげだと思っています。長い年月のうちにはいろいろなことがありました。時代の大きな流れの中、弱小NPOは今日も何とか踏ん張っています。今後とも末永くおつきあいくださいますようお願いいたします。

アースデイとやま2014に参加して

5月18日、生きる場センターはアースデイとやま2104に参加させていただきました。今年の会場は富山市ファミリーパークでした。

当日は天気がよく、9時開園と同時にたくさんのお客さんが来場されました。アースデイということで動物や植物をデザインしたはがきやカード、シールなどを販売しました。テントの前で足を止めて商品を手にとってくれたお客さんに作り手が自ら説明します。

アースデイは売上よりも交流重視なのでいろんな年齢層の方に生きる場センターの存在を知っていただくとうとチラシを手渡したり事業内容を説明したりします。そのことで後日印刷の仕事を受注できることもあります。



認定NPO法人制度というものがあります。認定を受けた法人に寄付をすると税制上の優遇措置が受けられるというものです。ところが今、大企業の法人税減税が議論される中、その代替財源として認定NPO法人への税制上の優遇を見直す動きが党内で出ているそうです。

この制度は、東日本大震災後の復興支援などに携わるNPOの活動を応援するといふ意味合いもありますが、是非残してほしいと思っております。

* 編集後記 *

編集人：特定非営利活動法人
自立生活支援センター富山
連絡先：〒930-0024
富山市新川原町5-9
レジデンス新川原1F
tel 076-444-3753
fax 076-407-5557
郵便振替：00700-5-47253
自立生活支援センター富山
発行人：北陸障害者定期刊行物協会
富山市今泉312番地
定 価：90円
年間購読料：360円

(文責 田中)